

第3回「芦屋国際俳句祭」

8部門、44人の受賞者が決定

問い合わせ 芦屋国際俳句祭実行委員会 ☎②1036

浅利恵子氏、渡辺善舟氏をはじめ、八部門、四十四人の受賞者が決まりました。多数の投句、ありがとうございました。授賞式は、三月二十日(土・祝)、午前十時からルナ・ホールで行われます。また、午後一時からは、「第八回国際俳句シンポジウム」が開催されます。



『芦屋市祈りと誓い』を執り行いました

9年前と同じく寒い一日となった1月17日。芦屋公園内にある「阪神・淡路大震災 慰霊と復興のモニュメント」前には、市民の皆さんが朝早くから献花と記帳に訪れ、祈りをささげました。

平成16年第1回

市議会定例会の日程

平成16年第1回定例会は、2月27日(金)に招集され、3月26日(金)まで開催する予定です。本会議・各委員会の予定は次のとおりです。傍聴を希望される場合は、日程が変更になることがありますのでお確かめの上、ご来場ください。

2月26日(木)【議会運営委員会】

2月27日(金)【本会議】

平成15年度分議案提案説明、委員会付託、平成16年度施政方針説明等

3月1日(月)・2日(火)・3日(水)

【各常任委員会】

平成15年度分議案審査(補足説明、質疑、討論、採決)

3月9日(火)【議会運営委員会】

3月10日(水)【本会議】

平成15年度分議案処理(委員長報告、討論、採決)、総括質問等

3月11日(木)【本会議・予算特別委員会】

総括質問、平成16年度分議案委員会付託等

3月12日(金)・15日(月)・16日(火)

【各常任委員会】

平成16年度分議案審査(補足説明、質疑、討論、採決)

【予算特別委員会各分科会】

平成16年度各会計予算の審査

3月22日(月)【予算特別委員会】

座長報告、討論、採決

3月25日(木)【議会運営委員会】

3月26日(金)【本会議】

平成16年度分議案処理(委員長報告、討論、採決)

問い合わせ 市議会事務局 ☎38-2001

モンテペロ市派遣学生・生徒募集

問い合わせ 国際交流協会(ACA) ☎34-6340
(〒659-0092 大原町2-6-209 ラ・モール芦屋2階)

市の姉妹都市、米国カリフォルニア州モンテペロ市の一般家庭に、親善使節として滞在する派遣学生・生徒を募集します。

募集人数 2人

派遣期間 7月下旬から4週間

応募資格

派遣時点で芦屋市に合計3年以上在住する高校以上の学生・生徒。健康で、海外生活に十分な順応性があり、日本や芦屋の文化、社会についての見識を有するかた。帰国後9月より1年間、ACAの国際友好委員会で活動できるかた。満8歳の時点から、連続3カ月以上の海外滞在経験がないかた。芦屋市中学・高校生海外派遣事業に参加していないかた。

応募受付期間

2月16日～3月8日<必着>

(日曜日は除く)

午前10時～午後6時15分

応募方法

ACA、市役所受付、ラポルテ市民サービスコーナーにある「第40回モンテペロ市派遣学生申込書」をACAへ持参または郵送。郵送の場合、80円切手を貼付した返信用の定形封筒を同封してください。

選考試験

<第1次試験 作文(英語・日本語)>

日時 3月21日(日)午前10時～正午

会場 ACA

<第2次試験 面接(英語・日本語)>

日時 3月28日(日)時間は別途通知

会場 ACA

交換学生事業の説明会を開催します 気軽にご参加ください。

日時 2月21日(土)午後3時～4時 会場 ACA

- 高浜虚子俳句奨励賞
- 人あれば人の顔する寒鴉
- 浅利恵子氏 (秋田県秋田市)
- 文部科学大臣奨励賞
- 案山子抜き景色が横になつてをり
- 渡辺善舟氏 (群馬県前橋市)
- 一般の部
- 高浜虚子俳句奨励賞
- 大砂丘とて冬帝のたなこころ
- 棕誠一朗氏 (鳥取県鳥取市)
- 大いなる力に柘榴割れにけり
- 渡辺秋風氏 (神奈川県横浜)
- 芦屋国際俳句大賞
- まつすくに来て満月を射抜く雲
- 椎野たか子氏 (徳島県徳島市)
- 芦屋国際俳句奨励賞
- 蘭汁の闇の中より船の音
- 村川喜久子氏 (香川県高松市)
- 芦屋市長賞
- どの部屋もみな今剪りし野菊かな
- 長谷川朝子氏 (宝塚市)
- 朝日新聞社賞
- 客の来て明かり付け足す種物屋
- 中谷明子氏 (芦屋市)
- ほか審査委員奨励賞十人

- 外国人の部
- 高浜虚子俳句奨励賞
- Looking through the window
- I see the footprints in the snow
- a letter has arrived.
- 窓ごしに見る / 雪の上の足跡 / 郵便が
- 来ている
- スロバダン ヨクスイモヴィッチ氏
- (セルビアモンテネグロ)
- 芦屋国際俳句大賞
- summer haze ~ / a beekeeper taps the
- swarm / loose
- 夏の霧 / 養蜂家がトントンたたいて / 蜂
- の群れを放つ
- ビヴァリィ ジョージ氏(オーストラリア)
- 芦屋国際俳句奨励賞
- I try to read / the pattern of clouds /
- ... Election Day
- 雲の模様を / 読みとこうとする / ...選挙の日
- フェイ アオヤギ氏 (アメリカ)
- 芦屋市長賞
- Crossing the room
- his footfalls rebound inside the cup
- so tea leaves settle.
- 部屋を横切る / 彼の足音が茶碗にこだまし
- て / 沈む茶の葉
- ダン ブラディ氏 (アメリカ)
- 朝日新聞社賞
- As they toll for Mass
- bells start shaking off first snow
- deep in the valleys
- ミサの鐘の音が / 谷深き初雪を / 振り落と
- し始める
- ジェイムズ カーカップ氏 (アンドラ公国)
- ほか審査委員奨励賞十人

ほか審査委員奨励賞七人

ほか審査委員奨励賞七人

ごあんない Report

情報教育指導補助員募集
 4月～平成17年3月(120日程度)、1日6時間・週3回 市内公立小・中学校
 コンピュータを活用した授業の補助・技術支援。報酬は1日12,000円 関コンピュータ経験者で現在失業中のかた、2人 関2月16日から27日までに下記へ 関学校教育課(☎38-2087)

芦屋さくらまつり緑日店出店募集
 4月3日(土)・4日(日) 関市民センター西側道路 関市内商店街加盟店、公共的団体、福祉団体(40店を超えた場合は協議) 関2月16日から20日までに、所定の「申込書」で芦屋さくらまつり協議会緑日担当(☎23-2071 商工会館内)へ 関コミュニティ課(☎38-2007)

幼児の食事とおやつ教室
 3月12日(金)10時～12時 関市民センター・料理室 関かんたん手作りおやつの実習 関2・3歳児と保護者30人<要予約>先着15人 託児あり 関エプロン、ふきん、三角巾 関保健センター(☎31-1586)

通学バス定期代の一部助成(後期分)
 関奥池町・奥池南町に居住し、バス定期券を購入し立または私立の小・中学校に通学している児童・生徒の保護者 関市内線の定期代を差し引いた額の2分の1を助成。上限額(10月～3月分)は、小学校3,280円、中学校6,560円 関3月1日から8日までに、山手小・山手中学校在校生は同小・中学校へ。その他の対象者は、下記へ(16年度から本制度は廃止) 関教育委員会総務課(☎38-2085)

「源氏物語」原典を読む講座
 2月23日(月)10時～12時 関市民センター・401室 関鈴木紀子氏 関1,400円(2回分) 関直接会場へ 関谷崎潤一郎記念館(☎23-5852)

公的個人認証サービスがスタート 問い合わせ 市民課 ☎38-2030

公的個人認証サービスのスタートにより、自宅のパソコンなどを利用し国・県への申請手続きができるようになりました。サービスを利用するには、他人が申請者になりすましたり申請内容が第三者によって改ざんされるのを防ぐための「電子証明書」が必要です。
 取得方法 「住民基本台帳カード」を持って市民課窓口へ
 電子証明書(3年間有効)は、住民基本台帳カードに書き込まれます
 発行手数料 3月31日まで無料(4月1日以降は500円)
 § 詳細は、県のホームページでご確認ください。
<http://web.pref.hyogo.jp/denshi/ninsyo/koutekikojin006.HTML>

大人が楽しむおはなしの会
 3月17日(水)10時～12時 関図書館・おはなしのへや 関昔話・創作物語のストーリーテリング 関児童文学者・大月ルリ子氏 関40人(子ども同伴不可) 関電話または図書館(分室)カウンターへ 関図書館(☎31-2301)

国際交流協会(A C A)からのお知らせ
 関国際交流協会(☎34-6340)
【A C A トワイライトコンサート】
 2月20日(金)18時～19時 関ラ・モール芦屋1階広場 関第81回The Sweet Voice Night 関正井千寿 関100人
【カルペディエム】
 2月27日(金)14時30分～16時 関国際交流協会(大原町2-6-209 ラ・モール芦屋2階) 関松島先生のラジオ番組を聞く 関コピー代 関20人(要予約)

大学連携「ひょうご講座」受講者募集
 関春期(5～8月)・秋期(9～12月)、火曜～金曜日・18時30分～20時、土曜日・13時30分～15時、各コース・8～12回(1回の講義・90分、週1回ペース) 関兵庫県立神戸学習プラザ(神戸交通センタービル4階) 関県内4年制大学と県との連携による生涯学習講座。さまざまな分野のアカデミックで専門的な大学教育レベルの講座を提供 関1科目・先着40人 関10,000～15,000円 関4月30日(金)までに下記へ 関ひょうご大学連携事業推進機構事務局(☎078-392-0660)

石綿製品の製造・使用等を禁止し
 平成15年政令第457号により、石綿を含有する建材、ブレーキ等の摩擦建材および接着材の製造・使用等を禁止する「労働安全衛生法施行令」が、本年10月1日から施行されます。これにより、ほぼすべての石綿製品(重量の1%を超えて石綿を含む製品)の使用等が禁止となります。 関兵庫労働局労働衛生課(☎078-367-9153)

納期 3月1日まで

固定資産税・都市計画税(第4期分) / 課税課固定資産税担当 ☎38-2017
 法人市民税・事業所税(12月31日決算の法人等) / 課税課管理担当 ☎38-2015
 介護保険料(普通徴収第8期分) / 高齢福祉課介護保険担当 ☎38-2046

毎月20日は
 「阪神地域ノーマイカーデー」
 環境にやさしいドライブマナーを

「オレオレ詐欺」「年金詐欺」にも気をつけて!

突然の電話で、息子や孫に成りすまし、「大変なことになった!」と交通事故など緊急のトラブルを装って、即刻、指定の口座に入金させるという手口です。
 話の重大さに我を失いあわてて振り込んでしまい、後で詐欺だとわかった時には、お金は引き出されていて連絡もつかないというものです。
 また社会保険事務所などを装って、電話や封書で「年金の払い過ぎがあったので、指定の銀行口座に振り込むように」と求めるような詐欺もあります。
 お金の振り込みについては、頭から信じたり一人であわてて対処せず、まず誰かに相談する、事実を確かめるなど落ち着いて対応しましょう。



クリーニングトラブル
 衣替えのシーズンの到来とともに、クリーニングに関する相談が増えます。
 【事例】「コートにクリーニングに出したら、前通し色が伸びてしまった。元通りに直して欲しいと依頼したが直らず、再度預けたが一年半も放置されたままにされている。
 【事例】「フードに取り外し可能なフア(毛皮の付いたコート)をクリーニングに出したら、フアがなくなっていました。
 【事例】「自作のワタリの多いエプロンのチャココ手芸用チョーク跡の消去とプレスをお願いしたが、消去とプレスがクリーニング店に依頼したが、チャコもとれず、出す前よりシワくちやになっただけで戻ってきた。」

【処理結果】
 事例 伸びの原因はメーカー調査でも不明だったが、クリーニング店が伸びを押さえようとして裏地に接着芯を貼っていたため、修復不可能になっており、コート代が全額賠償された。
 事例 預かり伝票にフアの記載がなかったため、店があくまで最初からフアはなかったと主張し、相談者はフア付きで出したことの証明ができなかったため、輪廻不調で終わった。
 事例 クリーニング店は、水洗いで処理すべきところドライで処理していた。プレスの仕上りもひどいと主張して斡旋した結果、クリーニング代が全額返金された。
 【トラブルを防ぐために】
 店を選ぶ時 特に高価な物を出す時は、クリーニング料金の安さだけで決めないで、技術のしつかりした受付時にきつちりチェックする店を選ぶようにしてください。スマク、

ローマック登録店がすかかも、一つの目安になります。

「クリーニング グルメに関する加盟店」
 「クリーニング グルメに関する加盟店」
 「クリーニング グルメに関する加盟店」

最近の相談事例から 困った時は早めに消費生活センターへ

【消費生活相談受付のご案内】
 月曜日～金曜日(祝日を除く)、午前9時～正午・午後0時45分～4時
 相談は、来所または電話で、なるべく契約者本人が契約書等の資料を用意し、お早めにご相談ください。



高齢者を狙う『名義貸し』や『融資詐欺』
 マミ金のチラシやスポーツ新聞の広告などを見て、手軽にお金を借りようとした高齢者が被害に合っています。
 【事例】一人住まいで年金暮らしの六十八歳の女性。郵便受けに「融資のご相談を受けます」というチラシが入っていたので電話をしてみました。担当者がすぐ家にやってきました。「携帯電話の契約に名前を貸してくれたら四万円あげる」と言われ、その男性について携帯電話の店を数件回り、合計七台の電話を契約した。電話料金はその男性が支払うので大丈夫と言われ、電話機や契約書説明書など一切をその場で男性に渡して、四万円もらった。その後、電話会社から百五十万円の通話料の請求が来て困っている。
 【事例】八十一歳の女性が融資を受けようとしたところ、業者から銀行預金口座を作るアルバイトをしないかと言われ、業者について銀行を回った。自分名義の銀行口座を二十以上も開設し、預金通帳と印鑑はその場で業者がすべて家に持っていき、バイト代は五万円だった。その後、銀行から「口座が不正に使われていた」と呼び出され、事情を話すと、消費生活センターに相談するよう紹介された。
 【事例】七十八歳の男性。新聞の広告を見て百万円の融資を受けようと思い電話した。業者はパソコンやデジタルカメラを買って送るよう家電販売店を指示したので、合計五十万円相当の商品をクレジットカードで購入し、指定の住所へ送った。業者からは四万円振り込んだできたが百万円の融資はなく、連絡も取れなくなった。
 【解説】名義貸しになり、契約当事者として支払いの責任を免れることはできません。事情を話すと、消費生活センターに相談するよう紹介された。

女性センターからのお知らせ

佐渡多真子写真展「中国の働く女性」
 ダイナミックに変化する中国社会の中で力強く働く女性たちの姿を、中国在住の写真家・佐渡多真子さんが撮影。
 期間 2月25日～3月1日、午前9時～午後9時(日曜日は午後5時まで)
 会場 市民センター・別館常設展示場

バザーの品物をご提供ください!
 女性センターフェスタ(3月6日)で、男女共同参画団体協議会がバザーを開催します。家庭に眠っている品物がありましたら提供をお願いします。バザーの売り上げはDVシェルター活動支援のため、全額寄付します。
 搬入期間 3月1日～4日、午前10時～午後5時
 搬入場所 女性センター
 【ご提供いただきたい品物】
 不要な贈答品...食品・酒類・日用雑貨等。食料品は、残賞味期限が1か月以上のもので、なま物は不可。
 衣類...大人用は新品のみ。子ども用は中古(洗濯済みの物)もOK
 子ども用品...おもちゃ・学用品等

「東山町自主防災会」が 県知事表彰を受賞しました

1月24日開催の平成15年度「自主防災活動推進大会」(高砂市福祉保健センター)において、東山町自主防災会の活動が、地域の防災活動の実践に顕著な功績があったと認められ、優良自主防災組織表彰(兵庫県知事表彰)を受賞しました。
 問い合わせ 防災対策課 ☎38-2093

1時間目	2時間目	開始時刻
00	あしやNOW(*)フォーカス芦屋「芦屋庭園都市宣言」	6:00
20	リピート9ch【再放送】(*) あしや自然百科「芦屋の冬鳥」(平成11年2月放送)	8:00
30	チャレンジレポート(*)「国際高校の生徒にチャレンジ」	10:00
40	広報とりきり(*)「春よ来い」「成人式」「消防出初め式」ほか	12:00
00	芦屋市民企画番組(*)「ありがとうジロー～打出公園～」	14:00
20	西宮ライブラリー 町名の由来「森下町・神明町」	16:00
30	ニッポンめざまし「打ち込むものを探せ!～見つけよう 明日の自分～」	18:00
		20:00
		22:00

放送時間 6:00～24:00(上記の順に毎朝6時から2時間サイクルで9回繰り返し放送します)
 (*)印の番組はビデオの貸出可 広報チャンネル(9ch)に関する問い合わせ 広報課 ☎38-2006
 CATV全般に関する問い合わせ 関ケーブルネット神戸芦屋(J-COM Broadband神戸・芦屋) ☎0120-13-8160

9ch 広報番組ガイド

読売映画試写会「芦屋プレビュー」
「グッバイ、レーニン!」 <2003年ドイツ映画・上映時間121分>
 壁崩壊直後のベルリンを舞台に、激動する時代の流れに翻弄されながらも懸命に心の絆を保とうとする家族の姿を描く、笑いと感動のドラマ。
 日時 3月4日(木)午後7時開演(6時30分開場)
 会場 ルナ・ホール
 入場料 抽選で300組・600人を無料招待
 申し込み はがきに、郵便番号・住所・氏名・年齢・職業を明記の上、2月23日(月)までに、読売新聞大阪本社事業局「芦屋プレビュー」係へ(☎06-6366-1847 〒530-8551 大阪市北区野崎町5-9)
 問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

第47回市民寄席 米朝・吉朝 ふたり会

日 時	4月23日(金)午後6時30分開演(6時開場)
会 場	ルナ・ホール
演 目	桂 あさ吉 「向う付け」 桂 吉朝 「かぜうどん」 桂 米朝 「不動坊」 桂 米朝 中 入 桂 雀松 「片棒」 桂 吉朝 桂 米朝 「浮かれの肩より」桂 吉朝

入場料 前売2,500円 当日3,000円<全席指定>
 前売り券売り切れの場合、当日券の発売はしません。お子さんの入場はご遠慮ください。
 チケット発売 モンテメール大奮、市役所売店、文化振興財団事務所、ぴあ、ローソンチケット <2月18日発売予定>
 問い合わせ 文化振興財団 ☎31-4962

税Q&A

市・県民税の申告について
 Q 私ば厚生年金の収入で生活していますが、税務署へ確定申告を行ったところ、確定申告の必要がないと言われました。私の場合、市・県民税の申告も必要ないのでしょうか。
 A 五月初旬に市・県民税の申告をされることをお勧めします。公的年金等の年金収入については、支払先から公的年金等支払報告書が市役所に送られてきますので、市・県民税の申告をいたただく必要はありません。しかしその報告書には、配偶者特別控除や生命保険料の控除額等を記入する箇所がありません。市では、各種の所得控除を適用する市・県民税額が減額になると思われるかたを対象に、五月初旬に申告書をお送りします。申告書が送られてきたら、そのときに市・県民税の申告をされることをお勧めします。
 問い合わせ 課税課市民税担当 ☎38-2016

教育の EDUCATION ページ

このページの問い合わせは
学校教育課(☎38-2087)へ

確かな学力の育成を図る

「学力向上研究支援プラン」の指定

芦屋市教育委員会では、「学力向上研究支援プラン」をつくり、特色ある学習活動を行う学校づくりを目指しています。このプランは、基礎・基本はもとより、「生きる力」の基本となる確かな学力を習得させるために、授業研究を通じた指導方法の工夫改善を支援するもので、学校の希望により指定しています。平成15年度は、山手小学校、朝日ヶ丘小学校、浜風小学校が指定を受け、研究を進めています



大学生のボランティア指導補助員が参加する授業

今年度より、小学校の算数などの授業に、大学生のボランティア指導補助員が参加し、個別指導などの指導補助を行っています。各小学校に二～三人参加しており、参加先の学

保護者や指導補助員に協力していただいている教育活動

今年度より、小学校の算数などの授業に、大学生のボランティア指導補助員が参加し、個別指導などの指導補助を行っています。各小学校に二～三人参加しており、参加先の学



総合的な学習の時間における英語活動

年や学級、教科、参加の方法などは、学校の実情に合わせています。学校によっては、保護者による教育ボランティアが算数の九九の指導補助を行っているところもあります。

また、中学校では、学習指導補助員や大学生のボランティア指導補助員が数学、英語などの個別指導や選択学習における指導補助等を行っています。
「大学生がやってくる日が楽しみ」、「わからないところがわかった」という児童生徒の声や「かけ算の九九の個別指導では助かった」という教師の声を聞いています。
今後は、より一層家庭や地域のみなさんの協力を得て、教育活動を進めていきます。ご理解とご協力をよろしく願います。



児童が主体的に進める国語の授業

十一月十九日には、浜風小学校が「教育実践発表会」を実施しました。学級を二つに分けて、少人数で指導する算数の授業や、地域の高齢者の「知恵」を生かした総合的な学習の時間も見られ、どの学級の授業でも、児童たちは、自分で考えて課題解決しようと真剣に取り組んでいました。
十一月二十六日には、山手小学校が「オープンスクール山手・学校参観」を実施しました。操作活動を通して実感する算数の授業や一人ひと

りが自分の心を振返る道徳の授業などがありました。児童たちの生き生きと取り組む姿が見られました。また、山手小学校では、今後の学校づくりに活かすために、保護者や地域のかたがたにも、参観いただき、日頃の教育活動に対する評価もいただいています。
二月十三日には、「Only One」の「私なりのいい授業」づくりを目指して、朝日ヶ丘小学校が教育実践発表会を開催し、昨年度と同様に、全国から多数の参観者を迎え、朝日ヶ丘小学校の研究が広く発信されました。
基礎・基本をしっかりと習得した

上で、自分たちの生活をしっかりと見つめて考える授業が見られました。どの学級の授業も継続的な研究の成果が感じられ、自ら意欲的に取り組む児童の姿が見られました。

第21回芦屋市立中学校総合文化祭

市内3中学校の参加による総合文化祭の音楽部門が11月13日に、展示部門が11月15日から17日にかけて市民センターで開催されました。



美しい歌声を披露した合唱

音楽部門はルナ・ホールで行なわれ、例年にも増して多くの観客の中で、合唱や吹奏楽の演奏が行なわれました。合唱では、市内3中学校から各校での合唱コンクールを勝ち上がってきた優秀クラスが合唱を披露し合いました。また、有志による合唱もあり、生き生きとした歌声を披露することができました。さらに、吹奏楽部の演奏は、3年生にとっては最後の舞台ということもあり、どの学校も感動的な演奏をすることができました。

一方、展示部門は市民センター多目的室で行なわれました。美術、書写、理科部門から合計約450点の作品が展示され、期間中には約300人のかたがたが見学に来られました。来ていただいたかたがたからは、「中学生の力強さが伝わってきた、創造力の高まりに感動しました」などたくさん感想をいただきました。



力作ぞろいの展示部門

今年度も多くの市民のかたがたに芦屋市立中学校総合文化祭にご参加いただきありがとうございました。今後とも、学校教育へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

第15回

芦屋市吹奏楽連盟定期演奏会

日時 3月28日(日)午後1時～4時
(午後0時30分開場)

会場 ルナ・ホール

出演 潮見コミスク金管バンド、精道中学校吹奏楽部、山手中学校吹奏楽部、潮見中学校吹奏楽部、県立芦屋高等学校吹奏楽部、県立芦屋南高等学校吹奏楽部、県立国際高等学校吹奏楽部、芦屋大学附属中・高等学校吹奏楽部、Wind Band ASHIYA、ASHIYA CITY BRASS

*合同演奏もあります



屋外でのボランティア指導補助員

歴史散歩 58

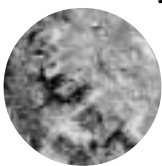
今も残る戦前の面影
月若町～三条南町 芦屋川トンネルの跡

芦屋に鉄道が通つたのは今から約百三十年前のことです。そして、大阪、神戸間の官営鉄道「国鉄」に、わが国最初のトンネル工事が採用されました。それが芦屋川の川底をもぐる「芦屋川トンネル」です(写真)。
芦屋川トンネルは明治四年に着工され、三年の歳月と八万五千円の費用を費やし

完成しました。

このトンネルは、将来をみこして複線用の大きさに造られ、当時のイギリスの新聞にも挿絵入りで取り上げられるほど、部材となった煉瓦の製造や組立技術が立派なものでした。煉瓦の製造は、鉄道専用の煉瓦工場を大阪の堺に新設し、そこから海路で運ばれました。
その後、明治二十七年(一八九四)西宮間に複線が開通し、大正十五年には、その複線の南側にも二線増設され、複雑線化(東灘、神崎間)となりました。そして、その煉瓦積み(大正八年頃)によって壊されました。

ところが、芦屋川トンネルの煉瓦は捨てられず、月若町～三条南町に至る現JR東海道線の北側斜面の擁壁に再利用されたと考えられます。その擁壁には無数の煉瓦が、ブロック状に敷き詰められています(写真)。
今では芦屋川トンネルの優美な姿を見ることはできませんが、その敷き詰められた煉瓦から当時を思い起こすことは可能です。



問い合わせ 美術博物館 ☎5432